

【町長】

<p>通告順</p>	<p>4</p>	<p>質問 議員</p>	<p>篠原議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>沼田町版再生エネルギー利用の取り組みは</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>2050年のカーボンニュートラル実現を目指して、沼田町でもゼロカーボンシティ宣言が提案された。このことは、沼田町が進めてきた環境に優しいエネルギー利活用への取り組みが一步前進することとして歓迎できる。しかし、この宣言を現実的なものとするためには具体的にどのような取り組みを行っていくのか、当面2030年までの削減の数値目標も含めて方策を議論する必要があると考える。</p> <p>まず、これまで沼田町が主体的に取り組んできた雪冷熱の利用について、現状は一部の公共施設と米の低温貯蔵施設で活用されている。今後の発展として食糧備蓄基地としての低温倉庫も構想されているが、新たな施設は総量として温室効果ガスの排出削減には寄与しない。既存の冷房設備からの置きかえ構想はあるのか。</p> <p>再生可能エネルギーの標準として、太陽光発電施設の設置が沼田町でも今後増えることが予想される。しかし、乱開発による土砂災害の発生例などもある。今後の開発に向けてのガイドライン作成や、大規模な開発計画が持ち上がった場合に住民としっかりした合意形成を行うのか。</p> <p>カーボンニュートラル実現のためには温室効果ガス排出削減と同時に吸収のための森林の活性化がとりわけ町の大部分が森林である沼田町にとっては重要になる。間伐によって生じる資源から作られる木質ペレットを燃料として使用する取り組みも広がっている。バイオマス燃料使用への切り替えと同時に、ペレット生産のための産業と雇用の創出も期待できる地産地消型のエネルギー活用をどのように考えるか。</p>		

# 木質バイオマスとは

木質バイオマスのエネルギー利用			
種類	燃料形態	特徴	加工度
在来型	薪	在来的な燃焼方式で、不完全燃焼と熱のロスが大きいため効率が低い	低
改良型	木質チップ 木質ペレット	固形燃料の直接燃焼ではあるが、連続投入により、高い熱効率と低エミッションが達成できる	中
転換型	ガス化 液化	発電や輸送用液体燃料などの生産が可能	高



図 1-1 代表的な3つの木質燃料

# 木質バイオマス活用事例



北海道

東北

関東

中部

近畿

中国・四国



木質  
バイオマスボイラー

## 地域の優位性を生かし、 町の経済、住民の生活を支える。

事例 No.03 北海道上川郡下川町 | 木質バイオマスボイラー



### 基本情報

■採択年度 平成22年度

■自治体・主管部署名  
下川町 森林総合産業推進課  
TEL.01655-4-2511



北海道上川郡下川町西町 352

■技術を導入した施設  
高齢者複合施設

### ■事業概要

高齢者複合施設で暖房、給湯などのため、木質バイオマスボイラー、追従性化石燃料ボイラー、貯湯槽を整備。

■定格出力 — kW

### ■二酸化炭素排出削減量 (t-CO<sub>2</sub>) の推移

1年目	97t-CO <sub>2</sub>	3年目	435t-CO <sub>2</sub>
2年目	494t-CO <sub>2</sub>	4年目	— t-CO <sub>2</sub>

### ■コスト

導入コスト(総工事費) 157,301千円  
※導入コストは当時のコスト  
年間の削減できた費用(電気代、燃料費など) 8,780千円

【町長・教育長】

<p>通告順</p>	<p>5</p>	<p>質問 議員</p>	<p>篠原議員</p>
<p>質問 項目</p>	<p>町民間にコロナによる分断や差別を起こさないためには</p>		
<p>質問 内容</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大はいまだに終息が見えない状況にあるが、折しも本日9月16日をもって沼田町では対象となる12歳以上のワクチンの接種が終了するという事で、担当された各位の努力に敬意を表したい。</p> <p>一方で現在主流となっているデルタ株と呼ばれる変異種は、従来のものよりも感染力が強いとされ、今後もまだまだ気が抜けない日々が予想される。都市部とここ沼田町では感染状況の違いはあるが、最近の傾向として若年層の感染が増えているというのも懸念材料になっている。</p> <p>そのような状況下で、接種を受けたか受けないかによって町民の中に分断や差別が発生しないかという問題が心配される。特に児童生徒についてはこれが新たないじめの原因となることは避けなければならない。</p> <p>そこで以下の点について町長と教育長の見解を問う。</p> <p>まず町長には児童生徒を含めた最終的な接種率見込みと、接種を受けなかった町民を含め、接種が終了した町民に向けて今後どのような対応するのかを聞きたい。</p> <p>児童生徒に関しては特に心のケアが大切だと考えるが、どのような内容・方法で行うのか教育長に聞きたい。とりわけ接種していない児童生徒がいるかもしれないというだけで、子どもたちの間に疑心暗鬼が生じてしまう怖れもあるので、差別やいじめを防止するためにどのような指導を行うのか聞きたい。</p>		

# 取り組み事例 (名寄市)



## コロナ差別がゼロのまち宣言

### 『3つの宣言と3つのお願い』

名寄市では市民の皆さまの安全・安心な暮らしを守るため、以下のとおり取り組むことを宣言します。

新型コロナウイルス感染症に関する差別から人々を守るため、市民の皆さまに3つのお願いがあります。

**宣言1 感染者や医療従事者等の人権を守ります。**

～感染者や医療従事者等は、守られるべき存在です～

**宣言2 風評被害を防ぎます。**

～正しい知識や情報に基づいた、冷静な行動を～

**宣言3 思いやりの気持ちを持って、安心して暮らせるまちづくりに**

**取り組みます。** ～人を思いやる気持ちを忘れずに～



正しく理解し  
思いやりある行動を

**お願い 1** 感染者や濃厚接触者やその家族、知人、医療従事者等に対して非難したり、誤解や偏見に基づく差別、いじめや誹謗中傷等をするのはやめてください。感染者等に関する個人情報や心ない書き込み等をインターネット・SNSに掲載・投稿することはやめてください。

**お願い 2** 正しい知識等をもとに、むやみに恐れることなく冷静に行動し、誤った情報や不確かな情報を拡散することはやめてください。

**お願い 3** 闘うべきは人ではなく新型コロナウイルスです。「もし自分が感染したら」と考え、市民一人ひとりがお互いを思いやる気持ちを忘れずに、行動してください。

「新北海道スタイル」を実践し、感染予防の徹底に努めてください。すべての市民が心を一にし、一丸となって、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっていきましょう。

令和2年12月2日

名寄市長 加藤 剛士

【町長・教育長】

通告順	1	質問 議員	伊藤議員
質問 項目	学校にエアコンの設置を		
質問 内容	<p>今年の夏は異常ともいえる猛暑となり、近年は気候変動からくるものなのか過酷な暑さが続く中、文部科学省は学校における熱中症対策ガイドライン作成の手引きを公開し、教育委員会に作成・改定するよう求めています。</p> <p>北海道の公立学校でのエアコン設置率は低いですが、連続での真夏日を超える状況では児童・生徒が集中して授業に取り組める環境は重要と考えます。</p> <p>また、小学校は指定避難所でもあり、災害時は避難者への熱中症対策としての配慮も必要と考えます。</p> <p>コロナ禍での授業や避難所生活で、マスクをつけての集団活動は過酷であり、困難を伴うものと考え質問をいたします。</p> <p>(教育長)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小・中学校の室温の状況と暑さ対策の取組について</li> <li>2. エアコン設置の必要性についての教育委員会の考えは</li> <li>3. 職員室への設置は教職員の働く環境の改善に有効と考えるがいかか</li> </ol> <p>(町長)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学童保育所は換気のため裏の通用口を開放しているが、安全面からもエアコンの必要性があると思うがどうか</li> <li>2. 今年のような酷暑の中、災害が発生し、小学校の避難所が開設された場合、現在の雪冷房だけで対応できるのか</li> <li>3. 指定避難所である小学校には大型発電機は設置されていないが、ブラックアウト時の電源確保として太陽光発電を選択できないか</li> <li>4. 文部科学省の令和4年度概算要求に示される公立学校の整備事業を活用して空調設備の設置は出来ないか。</li> </ol>		

# 公立学校施設の整備

新しい時代の学びを支える安全・安心な教育環境の実現～Schools for the Future～

令和4年度要求・要望額 2,352億円  
 + 事項要求 688億円  
 (前年度予算額)

## 背景

- ◆ 学校施設の老朽化がピークを迎える中、子供たちの多様なニーズに応じた**教育環境の向上と老朽化対策の一体的整備**が必要。
- ◆ 中長期的な将来推計を踏まえ、**首長部局との横断的な協働**を図りながら、**トータルコストの縮減に向けて計画的・効率的な施設整備を推進**。
- ◆ 2050年のカーボンニュートラル達成に向けて、**脱炭素社会の実現に貢献**する持続可能な教育環境の整備を推進。

### 1 新時代の学びに対応した教育環境向上と老朽化対策の一体的整備の推進

- 学校施設の長寿命化を図る老朽化対策
- バリアフリー化、特別支援学校の整備
- 他施設との複合化・共用化・集約化



老朽化対策と一体で教室の一部を新しい学びに対応する創造的空間に転換

複合化・共用化・集約化により学習環境を多機能化しつつ、効率的に整備



体育館の空調設置、断熱化などにより良好な室内環境を確保し、多様な活動に対応

### 2 防災・減災、国土強靱化の推進 <事項要求>

- 非構造部材の耐震対策等
- 避難所としての防災機能強化 (バリアフリー化、空調設置、トイレ改修等)



ロッカースペースの配置の工夫等による教室空間の有効活用

## 新しい時代の学校施設



校舎の柱や内装に木材を活用し、温かみのある学習・生活環境や脱炭素化を実現

### 3 脱炭素化の推進

- 学校施設のZEB化 (高断熱化、LED照明、高効率空調、太陽光発電等)
- 木材利用の促進 (木造、内装木質化)

#### 具体的な支援策

- **制度改正** :
  - 複合化を伴う長寿命化改修等の補助率引上げ
  - 大規模改造事業の上下限額見直し
  - 脱炭素化の取組に対する支援拡充
- **単価改定** : 対前年度比 +28.1%  
 (木材利用、LED照明など標準仕様見直し等)  
 小中学校校舎 (鉄筋コンクリート造) の場合  
 R3:220,700円/㎡ ⇒ R4:282,800円/㎡



多機能トイレの整備  
 避難所としての防災機能強化

## 脱炭素化



## 国土強靱化

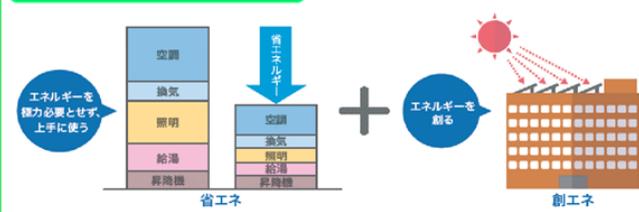
激甚化・頻発化する災害への対応



台風被害により屋根が消失した体育館

### ZEB (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)

年間で消費する建築物のエネルギー量を大幅に削減するとともに創エネでエネルギー収支「ゼロ」を目指す建築物



出典：環境省ホームページ